

文化ファッション大学院大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 文化ファッション大学院大学（以下「本大学院」という。）は、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。これにより、本大学院ファッションビジネス研究科は知財創造ビジネスのビジネスモデルを確立するための研究を行い、「国際的に通用するファッション価値を創造・具現化させ、グローバル視点に立つ独自のブランドを確立できる人材」を育成する。

2 本大学院は、その教育研究水準の向上を図り、本大学院の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。点検、評価等に関する規程は、別に定める。

(研究科・専攻)

第2条 本大学院は、専門職大学院とし、専門職学位課程のファッションビジネス研究科を置く。

2 ファッションビジネス研究科に、次の専攻を置く。

(1) ファッションクリエイション専攻

(2) ファッションマネジメント専攻

(標準修業年限・最長在籍年数)

第3条 本大学院の標準修業年限は2年とし、在籍年数は6年を超えることはできない。

(入学定員・収容定員)

第4条 本大学院の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

ファッションビジネス研究科

ファッションクリエイション専攻	入学定員	50名	収容定員	100名
-----------------	------	-----	------	------

ファッションマネジメント専攻	入学定員	30名	収容定員	60名
----------------	------	-----	------	-----

(附属施設)

第5条 図書館・学生寮、その他必要な附属施設は同一法人の学校と共用とし、これに関する規程・規則は別に定める。

第2章 教育課程等

(授業科目等)

第6条 本大学院の授業科目、単位数は、別表1のとおりとする。

(単位認定・成績評価・単位数の計算)

第7条 本大学院において、授業科目を履修した者に対しては、試験の上、その合格者に所定の単位を与える。

2 成績評価は、定期試験結果・授業への参加意欲等を総合して決定し、その科目の総合点は次による。

90点以上をAA、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をEとし、C以上を合格、Eを不合格とする。またP(認定)を置き、科目の可否のみを判定する評価とする。

3 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準によって計算する。

講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で定められた時間の授業をもって1単位とする。

4 単位履修に関する細則は別に定める。

(他大学院における授業科目の履修)

第8条 各専攻において教育上有益と認めるときは、本大学院の学生が他の大学院において履修した授業科目について、修得した単位数がその専攻の修了要件として定める単位数の2分の1を超えない範囲で本大学院において修得したものとみなすことができる。

(入学前の既修得単位数等の認定)

第9条 各専攻において教育上有益と認めるときは、本大学院の学生が当該専攻に入学する前に大学院において履修した授業科目について履修した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を当該専攻に入学した後の当該専攻における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の単位は、前条の規定により本大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて各専攻が修了要件として定める単位数の2分の1を超えないものとする。

第3章 課程修了の認定及び学位の授与

(専門職学位課程の修了要件)

第10条 専門職学位課程の修了要件は、各専攻に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し、54単位(ファッションクリエイション専攻では「修了作品」および「ポートフォリオ」の審査での合格、ファッションマネジメント専攻では「修了研究プロジェクト報告書」の審査での合格を含む)以上を修得した者を修了者とする。

(学位の授与)

第 11 条 専門職学位課程を修了した者には、専攻により次のように学位を授与する。

ファッションビジネス研究科 (専門職学位課程)

ファッションクリエイション専攻 ファッションクリエイション修士 (専門職)

ファッションマネジメント専攻 ファッションマネジメント修士 (専門職)

第 4 章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第 12 条 本大学院の学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

2 前項の学年を分けて次の 2 期とする。

前期 4 月 1 日から 9 月 20 日まで

後期 9 月 21 日から 3 月 31 日まで

3 年間の授業日数は定期試験等の期間を含め、年間 35 週にわたることを原則とする。

(休業日)

第 13 条 本大学院の休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日

(3) 学園創立記念日 6 月 23 日

(4) 春季休暇

(5) 夏季休暇

(6) 冬季休暇

2 学長は、必要がある場合は前項の休業日を臨時に変更することができ、また臨時の休業日を定めることができる。

第 5 章 入学・休学・退学・除籍・再入学

(入学)

第 14 条 専門職学位課程に入学を許可される者は、次の各号の一に該当し、かつ、入学試験に合格し所定の手続きを完了した者とする。

(1) 大学を卒業した者

(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者

(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者

(5) 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

- (6) 専修学校の専門課程（高度専門士課程卒業又は修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本大学院において、個別の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳以上の者

(入学の時期)

第15条 入学の時期は、学年の初めとする。

(入学志願手続)

第16条 入学志願者は、指定期日までに所定の書類を提出し、所定の検定料を納入しなければならない。

(入学手続)

第17条 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、所定の学費を納入しなければならない。

(休学)

第18条 病気その他やむを得ない事由によって休学しようとするときは、前期又は後期授業開始日までに所定の手続きにより、学長の許可を得なければならない。

- 2 休学期間は、その学年末までとし、通算して4年を超えることはできない。
- 3 休学期間は、在籍年数に算入する。
- 4 休学者が復学を願い出たときは、学年の初めにおいて許可することがある。
- 5 これに関する規程は別に定める。

(退学)

第19条 病気その他やむを得ない事由によって退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第20条 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者は、除籍する。

- 2 最長在籍年数6年を経て修了できなかったときは、除籍する。
- 3 正当の理由がなくて6ヶ月以上修学しない者は、除籍する。

(再入学)

第 21 条 退学者が再入学を願い出たときは、それを許可することがある。

- 2 再入学の許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、所定の学費を納入しなければならない。

第 6 章 職員組織

(職員)

第 22 条 本大学院に、次の職員を置く。

- (1) 教員として、学長、教授、准教授、助教、助手を置く。また、副学長を置くことができる。
- (2) 事務職員として、事務員、技術員、司書、学芸員その他必要な職員を置く。

(職務)

第 23 条 学長は、本大学院の校務を総理し、所属の職員を統督する。

- 2 副学長は、学長を助け、その命を受けて校務をつかさどることができる。
- 3 教授は、学生の教授に当たるとともに研究に従事する。
- 4 准教授は、学生の教授に当たるとともに研究に従事する。
- 5 助教は、学生の教授に当たるとともに研究に従事する。
- 6 助手は、所属組織の教育研究の円滑な実施に必要な業務を行う。
- 7 事務員は、事務に従事する。
- 8 技術員は、校舎施設の営繕、機械器具等の諸設備の修理保全に当たる。
- 9 司書は、図書に関する事務に従事する。
- 10 学芸員は、博物館の業務に従事する。

第 7 章 運営会議・内部質保証委員会

(運営会議・内部質保証委員会)

第 24 条 本大学院に、運営会議・内部質保証委員会を置く。

- 2 運営会議・内部質保証委員会に関する規程は、別に定める。

第 8 章 教授会

(教授会)

第 25 条 本大学院に、教授会を置く。

- 2 教授会に関する規程は、別に定める。

第 9 章 入学検定料・学費

(入学検定料・学費)

第 26 条 入学検定料は次のとおりとする。

全コース共通 入学検定料 35,000 円

- 2 学費は、入学金、授業料、演習実習費、教育充実費とし、前期及び後期にそれぞれ指定期日までに納入しなければならない。その額については別表2のとおりとする。
- 3 休学したときは、学費として授業料の額の2分の1の休学在籍料を納入しなければならない。
- 4 既納の学費は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で指定の期日までに入学手続きの取消しを願い出た者については、入学金を除く学費を返還することがある。
- 5 経済的事情により学費を延納しなければならなくなったときは、直ちにその旨書面で届け出て、許可を得なければならない。

第10章 科目等履修生、聴講生

(科目等履修生)

- 第27条 一又は複数の授業科目を履修し単位を修得しようとする者があるときは、教授会の議を経て、学長が科目等履修生としてこれを許可する。
- 2 科目等履修生に関する規程は別に定める。

(聴講生)

- 第28条 一又は複数の授業科目を聴講しようとする者があるときは、教授会の議を経て、学長が聴講生としてこれを許可する。
- 2 聴講生に関する規程は別に定める。

第11章 公開講座

(公開講座)

- 第29条 本大学院は、公開講座を開設することができる。
- 2 公開講座に関する規程は別に定める。

第12章 賞罰

(表彰・懲戒)

- 第30条 表彰・懲戒に関する規程は、別に定める。

第13章 規程の改廃

(規程の改廃)

- 第31条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長がこれを定める。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日改定施行する。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日改定施行する。

ファッションビジネス研究科 ファッションクリエイション専攻 ファッションデザインコース

2020年度（令和2年度）入学生

1年					2年					必要 単位	
	科目	前期	後期	単位		科目	前期	後期	単位		
必修	ファッションデザイン&ソサエティⅠ	●		2	必修	プレゼンテーション演習Ⅱ	●		1	36	
	プレゼンテーション演習Ⅰ	●		1		ファッションデザイン&ソサエティⅡ	●		2		
	基礎研究・創作		●	8		修士研究・創作		●	8		
	クリエイション造形Ⅰ	●	●	6		クリエイション造形Ⅱ	●	●	6		
	ファッションビジネスメソッド（演習）	集中		2							
選択	アート&デザイン	●		1	選択	グローバルビジネス論	●		2	18	
	アパレルCADオペレーション	●		1		グローバルプロダクト戦略	●		2		
	アパレル3DCADⅠ	●		1		知財マネジメント論	●		2		
	アパレル生産論	●		2		デジタルデザイン画	●		1		
	アパレルテキスタイル演習	●		1		ブランド起業演習	●		1		
	アパレル人間工学Ⅰ	●		2		ビジネス法務		●	2		
	計数管理	●		2		コンピュータニット	●	●	2		
	素材論	●		2							
	デザイン・ディベロップメント	●		1							
	美学	●		2							
	流行論	●		2							
	アドバンスドCADデザイン		●	1							
	アパレル3DCADⅡ		●	1							
	アパレル人間工学Ⅱ		●	1							
	インターンシップ（デザイン）		●	4							
	デザイナーブランドの商品企画		●	1							
	日本美術概論		●	2							
	ファッションビジネス概論		●	2							
	ファッション文化論		●	2							
	プロダクトデザイン		●	1							
	グラフィックワーク	●	●	2							
	デザイン画	●	●	2							
	ニットデザイン	●	●	2							
ファッション英会話	●	●	2								
合計										54	

2020年度（令和2年度）入学生

1年					2年					必要
	科目	前期	後期	単位		科目	前期	後期	単位	単位
必修	基礎研究・創作		●	6	必修	ファッションテクノロジー理論Ⅱ	●		2	30
	生産システムⅠ	●	●	4		修了研究・創作		●	6	
	ファッションテクノロジー理論Ⅰ	●	●	4		ファッションテクノロジー演習Ⅱ	●	●	4	
	ファッションテクノロジー演習Ⅰ	●	●	2						
	ファッションビジネスメソッド（演習）	集中		2						
選択	アパレル3DCADⅠ	●		1	選択	クリエイティブパターンメイキング	●		2	24
	アパレルテキスタイル演習	●		1		グローバルビジネス論	●		2	
	アパレル人間工学Ⅰ	●		2		グローバルプロダクト戦略	●		2	
	アパレルCADパターンメイキングⅠ	●		2		生産システムⅡ	●		2	
	計数管理	●		2		知財マネジメント論	●		2	
	素材の特性・応用	●		2		デジタルデザイン画	●		1	
	素材論	●		2		ブランド起業演習	●		1	
	ニットCADⅠ	●		1		ビジネス法務		●	2	
	ラグジュアリー・メソッド	●		2		コンピュータニット	●	●	2	
	流行論	●		2						
	アパレル3DCADⅡ		●	1						
	アパレル人間工学Ⅱ		●	1						
	インターンシップ（テクノロジー）		●	4						
	クリエイティブシンキング		●	1						
	テキスタイルデザイン		●	2						
	デザイナーブランドの商品企画		●	1						
	ニットCADⅡ		●	1						
	ニューテクノロジー演習		●	2						
	ファッションビジネス概論		●	2						
	プロダクションマネジメント		●	2						
	グラフィックワーク	●	●	2						
	デザイン画	●	●	2						
	ファッション英会話	●	●	2						
合計										54

2020年度（令和2年度）入学生

1年					2年					必要 単位	
	科目	前期	後期	単位		科目	前期	後期	単位		
必修	アパレルマーチャンダイジング論	●		2	必修	修了研究プロジェクト	●	●	6	30	
	基礎研究プロジェクトⅠ-A	●		1							
	計数管理	●		2							
	素材論	●		2							
	ファッション商品論Ⅰ	●		2							
	ファッションマーケティング論	●		2							
	ブランドマネジメント論	●		2							
	リテールマネジメント論	●		2							
	アカウンティング		●	2							
	基礎研究プロジェクトⅡ-A		●	2							
	ショッププランニング演習		●	1							
	ブランドマネジメント演習		●	2							
	ファッションビジネスメソッド（演習）	集中		2							
選択	アパレル製品図演習	●		1	選択	Global Negotiation	●		2	24	
	アパレル造形論	●		2		グローバルビジネス論	●		2		
	色彩論	●		2		グローバルプロダクト戦略	●		2		
	マーケティングリサーチ	●		2		経営情報システム演習	●		1		
	アパレル生産論		●	2		経営戦略論	●		2		
	クリエイティブシンキング		●	1		知財マネジメント論	●		2		
	ビジネス法務		●	2		デザインマネジメント演習	●		1		
	ビジュアルマーチャンダイジング演習		●	1		ファイナンス	●		2		
	ファッション商品論Ⅱ		●	2		ファッションビジネス起業論	●		2		
	ファッションテック		●	2		マーケティング戦略論	●		2		
	ファッションと消費者意識		●	2		マテリアルプランニング演習	●		1		
	ファッション文化論		●	2		ファッション起業・ビジネスモデル事例研究		●	1		
	ロジスティクス論		●	2		フィールドプロジェクト	●	●	4		
合計										54	

2020年度（令和2年度）入学生

1年					2年					必要 単位
	科目	前期	後期	単位		科目	前期	後期	単位	
必修	基礎研究プロジェクトⅠ-B	●		1	必修	修了研究プロジェクト	●	●	6	14
	ファッションビジネス起業論	●		2						
	基礎研究プロジェクトⅡ-B		●	2						
	ファッション起業・ビジネスモデル事例研究		●	1						
	ファッションビジネスメソッド（演習）	集中		2						
選択	アパレル製品図演習	●		1	選択	Global Negotiation	●		2	40
	アパレル造形論	●		2		グローバルビジネス論	●		2	
	アパレルマーチャンダイジング論	●		2		グローバルプロダクト戦略	●		2	
	計数管理	●		2		経営情報システム演習	●		1	
	色彩論	●		2		経営戦略論	●		2	
	素材論	●		2		知財マネジメント論	●		2	
	ファッション商品論Ⅰ	●		2		デザインマネジメント演習	●		1	
	ファッションマーケティング論	●		2		ファイナンス	●		2	
	ブランドマネジメント論	●		2		マーケティング戦略論	●		2	
	マーケティングリサーチ	●		2		マテリアルプランニング演習	●		1	
	リテールマネジメント論	●		2		フィールドプロジェクト	●	●	4	
	アカウンティング		●	2						
	アパレル生産論		●	2						
	クリエイティブシンキング		●	1						
	ショッププランニング演習		●	1						
	ビジネス法務		●	2						
	ビジュアルマーチャンダイジング演習		●	1						
	ファッション商品論Ⅱ		●	2						
	ファッションテック		●	2						
	ファッションと消費者意識		●	2						
	ファッション文化論		●	2						
	ブランドマネジメント演習		●	2						
	ロジスティクス論		●	2						
合計										54

別表 2

学費

1年次

(単位：円)

専攻・コース	ファッションクリエイション専攻		ファッション マネジメント専攻
	ファッション デザインコース	ファッション テクノロジーコース	ファッション 経営管理コース
入学金	300,000		
授業料（前期）	500,000		
演習実習費	240,000	200,000	170,000
教育充実費	210,000		
入学時納入額合計	1,250,000	1,210,000	1,180,000
授業料（後期）	500,000		
納入額合計（後期）	500,000		
年間納入額合計	1,750,000	1,710,000	1,680,000

2年次

(単位：円)

授業料（前期）	500,000		
演習実習費	120,000	120,000	120,000
教育充実費	210,000		
納入額合計（前期）	830,000		
授業料（後期）	500,000		
納入額合計（後期）	500,000		
年間納入額合計	1,330,000		